

おすすめの図書館利用法

106A113 吉田 知代

皆さんにとって、図書館はどんな場所でしょうか。

本を読む、資料を集める、勉強する、時には寝るという使い方もありかもしれません。図書館は、使い方次第であらゆることに活用できる場所です。

聖学院大学図書館には非常に多くの資料（本の他、雑誌、映像資料など）があります。3つの学部と大学院の専門を網羅しているため膨大な量ですし、そのカテゴリは多岐に渡ります。レポートを書く際、もっともお世話になるのは図書館でしょう。私自身、よく貸出用のノートパソコンや印刷機を利用しましたし、資料を探すときもまず図書館をあたりました。試験期間は混み合うので注意が必要ですが、時間を効率よく使って勉学に励むのなら、図書館を利用しない手はないのです。

図書館は学ぶためにあるところ、と考えると堅苦しく感じてしまいがちですが、図書館にある資料は勉学や研究のための資料ばかりではありません。2階には雑誌、新聞があります。そして図書の中には国内外の作家の著作が多く含まれています。多すぎて、読んでみたくても手掛かりが無い…という方は今まで読んだことのある作品がある棚へ行ってみて、その周囲を見回してみると新しい発見があるかもしれません。図書館にある雑誌は学術誌が多いですが、2階の雑誌架を見て回り、気になるトピックを読んでみることも面白いのではないのでしょうか。私のお勧めの本はフランスのSF作家ジュール・ヴェルヌの「海底二万海里」、雑誌は「ナショナル・ジオグラフィック」などです。

冒頭で、図書館は使い方次第、と述べました。課題を仕上げるために利用するもよし、新しい楽しみを見つけるもよし、静かな環境を利用して寝るもよし。ただ、使い方によってはとても大きな恩恵を得ることもできます。学生時代に出会う本は貴重です。図書館は宝の山のようなものです。そこからどんな宝を見つけるかは、利用するあなたの次第です。ぜひ、自分に合った使い方を見つけてください。

（欧米文化学科 4年）